

海外安全・危機管理のプロフェッショナルを養成

—— 日外協「海外安全・危機管理 認定試験」を改革

日外協では、企業の海外安全・危機管理者の育成を側面から支援し、企業の危機管理対応力のさらなる強化に貢献することを目的とした「海外安全・危機管理 認定試験」を実施している。2024年度は、さらなる拡充を求めて、カリキュラムおよび講師陣の抜本的な改革を行った。

日外協の「海外安全・危機管理 認定試験」には2つのコースが設けられている。1つは、基礎知識の習得に重点を置く「管理者コース」(年2回、春・秋開催)で、2024年10月には第30回を数え、これまでに597人が合格している。

もう1つは、「管理者コース」を合格し、この分野ですでに実務経験があるマネジメントクラスおよび責任者の任に就いた人を対象に、危機管理責任者にとって必要な知識や分析力・判断力等の実践的能力の向上を図る「責任者コース」(年1回、秋開催)。2024年10月には第13回を数え、これまでに74人が責任者の資格を得ている。

これら「海外安全・危機管理者」や「海外安全・危機管理責任者」の認定資格は、「防災士」と同じく、民間資格である。日本で唯一の海外安全・危機管理者の育成を支援するプログラムとして、日外協の会員を中心に、海外に進出している多くの企業や関係者から、長年にわたり高く評価されてきた。

しかしながら、コロナ禍が明けて、日本企業の海外展開が再開され、駐在員や帯同家族、出張者などの人数が増加傾向に転じている中で、新たな世界情勢に合わせた「海外安全・危機管理 認定試験」の在り方が問われるようになった。

そこで2024年度、日外協創立50周年を機に「海外安全・危機管理 認定試験」のカリキュラムおよび講師陣の大幅な見直しを行い、現在のグローバルなビジネス環境に適合した最新情

報に基づく「対話型育成プログラム」へと再構築を行った。

安全対策・危機管理の基本を体系的に学ぶことができる日外協の認定試験をプロフェッショナル人材の育成に役立ててはいかがだろうか。

試験の合格者には、当協会から認定証を付与。

受講料は税込で「管理者コース」3万3000円、「責任者コース」8万2500円。



認定試験の詳細は日外協ウェブサイト参照→

(日外協 海外安全センター) ■



プログラムの改定にあたって

このたび、日頃から日外協をご支援いただいている多くの関係者のご協力を得て、5年ぶりにプログラムの改定を行いました。現時点では考え得る限り、わが国における最高水準のカリキュラムと、最強レベルの講師の布陣が実現できたと自負しています。

近年、世界情勢が混迷の度を深める中、安全配慮義務を厳格に順守することが今後ますます企業に求められるようになるでしょう。

体系的なプログラムで、自社の社員を海外安全・危機管理のプロフェッショナルに養成できる「海外安全・危機管理 認定試験」をぜひご活用いただきたいと思います。

日外協 海外安全センター長 佐藤 真樹

管理者コース

海外安全・危機管理に必要な基礎知識を身に付けていることを認定（1日研修、毎年10月と3月に実施）

時間	カリキュラム大項目／内容
10:00～10:40	【海外安全・危機管理の目的・必要性、海外安全・危機管理者の業務概要】 安全配慮義務、企業価値の向上と多国籍化への対応、危機管理者の基本的姿勢、基盤づくり、および業務概要
10:50～11:35	【平時における海外安全・危機管理業務】 管理体制の構築、マニュアル作成、シミュレーションの実施、情報の収集・分析・周知、駐在員・出張者管理、渡航者への教育・研修、渡航者の健康管理・医療など
11:45～12:30	【緊急時における海外安全・危機管理業務】 緊急時対応の基本、事象別対応（病気・負傷・死亡、国外退避・緊急避難、テロ、誘拐、脅迫、自然災害、新型感染症）
13:30～14:30	【渡航者への海外安全対策指導要領】 安全対策の基本、海外での生活、企業施設の安全対策、車の利用、カージャック、強盗・窃盗、テロ対策、誘拐対策、身柄拘束対策、ホテル利用時の対策など
14:30～14:50	【自習】 自習兼質疑応答
14:50～15:00	【試験説明】 休憩後、試験説明
15:00～16:00	【総合演習】 筆記試験（50問選択式テスト）

責任者コース

知識、見識、分析力、判断力などがリーダーとしての水準に達していることを認定（3日間研修、毎年10月に実施）

時間	カリキュラム大項目／内容
第1日 9:00～17:20	
9:00～10:00	【オリエンテーション】 受験者の自己紹介および最新の事例をテーマに受験者、講師が安全対策を討議
10:10～12:10	【責任者に課される責務・演習①】 ・危機管理体制と運営上の経営的課題解消に向けた提言を主導する ・求められる情報 Literacy / Intelligence、事例に学ぶ情報分析
13:10～15:10	【緊急事態対応・演習②】 教育と訓練の効用 緊急出国と国外退避（事例から学ぶ「日常の中の異常」「オペレーションの舞台裏」）
15:20～17:20	【緊急事態対応・演習③】 脅迫・誘拐に対する予防策、誘拐発生時における企業・担当者の対応ポイントとプロセスに関するケーススタディ、小テスト
18:00～20:00	交流懇親会（新型コロナウイルス等の感染症の状況により実施しない場合があります）
第2日 10:00～17:20	
10:00～12:00	【緊急事態対応・演習④】 海外の医療事情と直面する問題点、平常時の対策（海外勤務者の安全配慮義務、海外旅行保険等）、緊急時（急病、緊急移送）のケーススタディ、小テスト
13:00～15:00	【緊急事態対応・演習⑤】 海外危機管理訓練の重要性、自社に適した訓練方法について 訓練目的、訓練対象、訓練手法、企画から実施までの流れ（他社事例含む）、小テスト
15:10～17:10	【緊急事態対応・演習⑥】 2日間の演習内容の振り返りとグループディスカッション
17:10～17:20	【総合演習説明】 研究レポート、口頭試問について事務局から説明
第3日 9:00～	
9:00～	【総合演習】 研究レポート、プレゼンテーション、口頭試問（受験者1人当たり30分程度予定）

※両コースとも都合により演習の順番、テーマ、講師が変更になる場合があります。